

(19) 日本国特許庁 (J P)

(12) 公開特許公報 (A)

(11)特許出願公開番号

特開平4-243774

(43)公開日 平成4年(1992)8月31日

(51) Int.Cl.<sup>5</sup>

**B 6 5 H 75/02**

75/06

識別記号

F 7030-3 F

7030-3 F

F I

### 技術表示箇所

審査請求 未請求 請求項の数2(全 4 頁)

(21)出願番号 特願平3-7960

(22)出願日 平成3年(1991)1月25日

(71)出願人 000005223

富士通株式会社

神奈川県川崎市中原区上小田中1015番地

(72)発明者 坂本 淳

神奈川県川崎市中原区上小田中1015番地

富士通株式会社内

(74)代理人 弁理士 山川 雅男 (外1名)

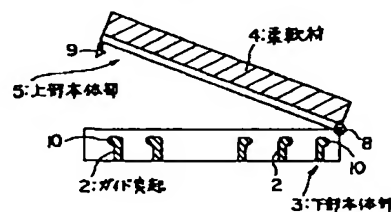
(54) 【発明の名称】 ケーブル収納具

(57) 【要約】

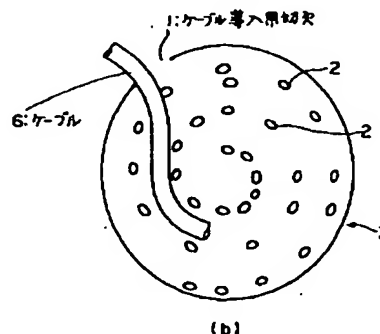
【目的】本発明は、各種OA機器の余長ケーブルを収納するためのケーブル収納具に関し、インターフェイスケーブル等の余長を収納して整理することを目的とする。

【構成】側壁部にケーブル導入用切欠１を設け、底面に複数のガイド突起２を所定間隔で突設した有底筒状の下部本体部３と、前記下部本体部３の上部開放端を開閉可能に閉塞し、裏面に柔軟材４を貼着した上部本体部５とからなり、前記ケーブル導入用切欠１から下部本体部３内に導いた余長ケーブル６をガイド突起２間に巻回して収納するように構成する。

本発明の第一実施例を示す図



(a)



(b)

**Best Available Copy**

1

## 【特許請求の範囲】

【請求項1】側壁部にケーブル導入用切欠(1)を設け、底面に複数のガイド突起(2)を所定間隔で突設した有底筒状の下部本体部(3)と、前記下部本体部(3)の上部開放端を開閉可能に閉塞し、裏面に柔軟材(4)を貼着した上部本体部(5)とからなり、前記ケーブル導入用切欠(1)から下部本体部(3)内に導いた余長ケーブル(6)をガイド突起(2)間に巻回して収納するケーブル収納具。

【請求項2】前記ガイド突起(2)間の間隔が互いに相違する複数の下部本体部(3)の裏面に上部本体部(5)を一体的に形成してケーブル収納ユニット(7)を構成し、各ケーブル収納ユニット(7)を複数個積層してなるケーブル収納具。

## 【発明の詳細な説明】

【0001】

【産業上の利用分野】本発明は、各種OA機器の余長ケーブルを収納するためのケーブル収納具に関するものである。

【0002】近年、事務所等における各種OA機器の導入が進むにつれて、インターフェイスケーブル類が煩雑に配線されるに至っている。

【0003】このような事情の下、インターフェイスケーブルを効率的に収納するケーブル収納具が望まれている。

【0004】

【従来の技術】従来、機器同士を接続するためのインターフェイスケーブルの余長は、そのままにしておくか、あるいはケーブルバンド等を使用して束ねて処理することが行われていた。

【0005】

【発明が解決しようとする課題】しかし、このような従来の余長ケーブルの管理方法では、ケーブル同士が複雑に絡み合っているため、機器のレイアウト変更の際に多大の時間を要する上に、美観上も好ましくなく、かつ塵埃がつもり、衛生上もよくないという欠点を有するものであった。

【0006】本発明は、以上の欠点を解消すべくなされたものであって、インターフェイスケーブル等の余長を収納して整理することのできるケーブル収納具を提供することを目的とする。

【0007】

【課題を解決するための手段】本発明によれば上記目的は、実施例に対応する図1に示すように、側壁部にケーブル導入用切欠1を設け、底面に複数のガイド突起2を所定間隔で突設した有底筒状の下部本体部3と、前記下部本体部3の上部開放端を開閉可能に閉塞し、裏面に柔軟材4を貼着した上部本体部5とからなり、前記ケーブル導入用切欠1から下部本体部3内に導いた余長ケーブル6をガイド突起2間に巻回して収納するケーブル収納

2

具を提供することにより達成される。

【0008】また、図2に示すように、前記ガイド突起2間の間隔が互いに相違する複数の下部本体部3の裏面に上部本体部5を一体的に形成してケーブル収納ユニット7を構成し、各ケーブル収納ユニット7を複数個積層してもよい。

【0009】

【作用】本発明におけるケーブル収納具は複数のガイド突起2を所定間隔で植設した有底筒状の下部本体部3の上部開放端を上部本体部5により開閉可能に閉塞して構成され、余長ケーブル6は、ガイド突起2を利用して下部本体部3内に巻回収納される。

【0010】ガイド突起2間の間隔が異なる種々の下部本体部3を有するケーブル収納ユニット7を複数個積層するようにした請求項2記載の発明においては、種々の太さのケーブル6を効率的に収納することが可能になる。

【0011】

【実施例】以下、本発明の望ましい実施例を添付図面に基づいて詳細に説明する。

【0012】図1において本発明の第一実施例が示されている。ケーブル収納具は、有底筒状の下部本体部3に上部本体部5をヒンジ部材8により開閉自在に連結して形成され、上部本体部5のヒンジ部材8が装着される部位に対して対向する部位に設けられたフック9を下部本体部3に弾発的に係止させることにより、上部本体部5は、下部本体部3を閉塞するようにされている。

【0013】上記下部本体部3は、側壁にケーブル導入用切欠1を有しており、このケーブル導入用切欠1から引き込まれたケーブル6を中心部に向かって整然と巻き取ることができるように、該下部本体部3の底面には少なくとも余長ケーブル6を挟み込むことができる程度の間隔をあけて複数のガイド突起2が立設されている。この実施例において各ガイド突起2はケーブル6を中心に向けて巻き付けやすいように螺旋状に配置されており、その上端にはケーブル6のガイド突起2からの上方への脱離を防止するための係止突部10が設けられている。また、ケーブル6が外周部から中心に向けて巻回されることを考慮して上記各ガイド突起2の係止突部10は、下部本体部3の側壁に向くように設けられている。

【0014】以上の構成の下、余長ケーブル6は、ケーブル導入用切欠1から下部本体部3の内方に引き込んでガイド突起2に沿って巻き付けることにより吸収され、その後、いずれかのガイド突起2の間の隙間からケーブル導入用切欠1側に引き出され、再び該ケーブル導入用切欠1から外部に引き出される。ケーブル6の巻回状態を維持するために、該ケーブル6の余長を吸収した後、下部本体部3の上面は上部本体部5により閉塞され、ケーブル導入用切欠1から引き込まれたケーブル6が再びケーブル導入用切欠1側に引き出されるために生じるケ

3

4

ケーブル6の交差部位におけるケーブル6の遊びを押さえつけるために、下部本体部3の裏面には、スポンジ等の柔軟材4が貼着されている。

【0015】図2および図3は本発明の第二実施例を示すもので、下部本体部3の底面にスポンジ等の柔軟材4を有する上部本体部5を一体的に形成してケーブル収納ユニット7が構成され、複数のケーブル収納ユニット7、7・・・がヒンジ部材8により互いに連結されている。

【0016】なお、以下の説明において、上述した第一実施例と同一の構成要素は、図面に同一の符号を付して説明を省略する。

【0017】各ケーブル収納ユニット7は、裏面側にフック9を有しており、各フック9をその下方に配置される他のケーブル収納ユニット7に係止することにより、下部本体部3の上部が閉塞される。

【0018】さらに、上記各々のケーブル収納ユニット7のガイド突起2間の間隔は互いに相違しており、余長ケーブル6の太さによりいずれかのケーブル収納ユニット7を選択することができるように配慮されている。

【0019】次に本発明の第三実施例を示す図4および図5において、ケーブル収納ユニット7は中心部に貫通穴11を有しており、この貫通穴11にガイド杆12を挿通させることにより、複数のケーブル収納ユニット7、7・・・が積層されて保持される。

【0020】上記ガイド杆12には、ケーブル収納ユニット7の厚み方向寸法と同一寸法のピッチで溝13が凹設されており、適宜数のケーブル収納ユニット7を積層した後、その上端部に合致する溝13に止めピン14を装着することにより、ケーブル収納ユニット7の分離が防がれている。

【0021】したがってこの実施例において、複数の余長ケーブル6を各々の太さに合致したケーブル収納ユニット7により収納し、それらをまとめておくことが可能になる。

【0022】なお、この実施例は、上述した第二実施例と同一の構成を有するケーブル収納ユニット7をガイド杆12を介して連結する場合を示しているが、第一実施例に示されるような上下部本体部3をヒンジ部材8により連結したケーブル収納具をガイド杆12を介して積層するように構成することも可能である。

【0023】

【発明の効果】以上の説明から明らかなように、本発明によるケーブル収納具によれば余長ケーブルを整然と整理することができる。

【図面の簡単な説明】

【図1】本発明の第一実施例を示すもので、(a)は断面図、(b)は下部本体部の平面図である。

【図2】本発明の第二実施例を示すもので、(a)は断面図、(b)は側面図である。

【図3】第二実施例の全体斜視図である。

【図4】本発明の第三実施例を示す図である。

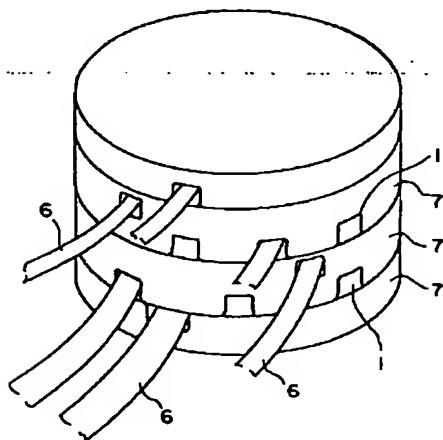
【図5】ガイド杆と止めピンを示す図である。

【符号の説明】

- 1 ケーブル導入用切欠
- 2 ガイド突起
- 3 下部本体部
- 4 柔軟材
- 5 上部本体部
- 6 ケーブル
- 7 ケーブル収納ユニット

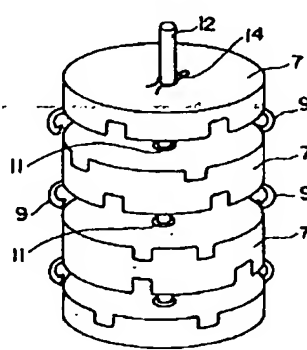
【図3】

第二実施例の全体斜視図



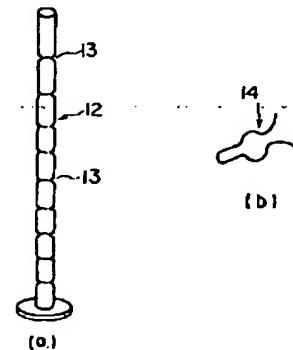
【図4】

本発明の第三実施例を示す図

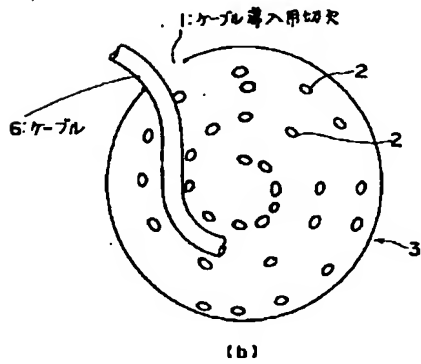
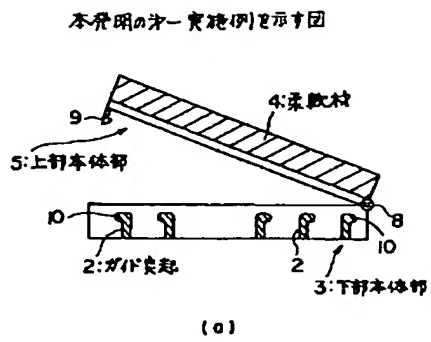


【図5】

ガイド杆と止めピンを示す図

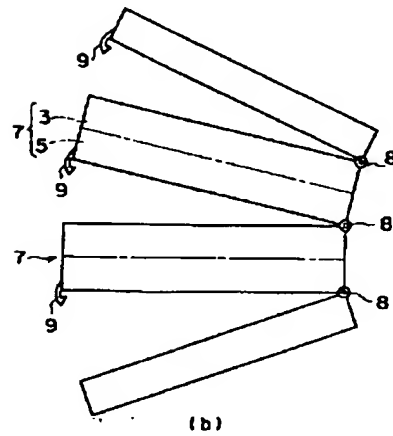
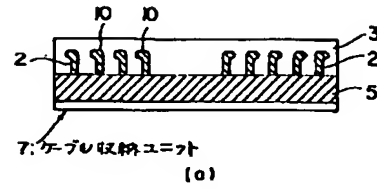


【図1】



【図2】

本発明の第二実施例を示す図



**This Page is Inserted by IFW Indexing and Scanning  
Operations and is not part of the Official Record**

**BEST AVAILABLE IMAGES**

Defective images within this document are accurate representations of the original documents submitted by the applicant.

Defects in the images include but are not limited to the items checked:

- ☐ BLACK BORDERS
- ☐ IMAGE CUT OFF AT TOP, BOTTOM OR SIDES
- ☐ FADED TEXT OR DRAWING
- ☐ BLURRED OR ILLEGIBLE TEXT OR DRAWING
- ☐ SKEWED/SLANTED IMAGES
- ☐ COLOR OR BLACK AND WHITE PHOTOGRAPHS
- ☐ GRAY SCALE DOCUMENTS
- ☐ LINES OR MARKS ON ORIGINAL DOCUMENT
- ☒ REFERENCE(S) OR EXHIBIT(S) SUBMITTED ARE POOR QUALITY
- ☐ OTHER: \_\_\_\_\_

**IMAGES ARE BEST AVAILABLE COPY.**

**As rescanning these documents will not correct the image problems checked, please do not report these problems to the IFW Image Problem Mailbox.**